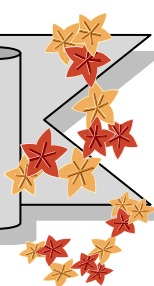


# 平戸



令和元年10月31日  
横浜市立平戸小学校  
〒244-0803  
横浜市戸塚区平戸町 542 番地  
Tel.045-821-2329

## 「平戸」の伝統をつなぐ

副校長 諏訪部 民子

金木犀の香りが秋の訪れを知らせてくれる頃となりました。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動へのご支援、ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

先日の「ふるさと平戸」では、長寿クラブを中心とした多数の講師の皆様と地域の皆様やPTA 本部の皆様、放課後キッズクラブの皆様、そして60名を超える保護者ボランティアの皆様に支えられ、平戸小学校の子どもたちは、かけがえのない素敵な時間を過ごすことができました。事前準備から当日の運営までご尽力いただいた多くの皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今年で38回を数える「ふるさと平戸」ですが、本校の6年生も、最上級生として「6年生ブースの運営」「地域の皆様のブースへのボランティア活動」に取り組ませていただいております。「お世話になるだけでなく、自分たちも平戸のまちの一員として、何かできることをしたい。」という願いと思いから生まれた活動です。看板やポスター作り等の事前準備を友達と協力して行い、当日も下級生に丁寧に教えてあげていた6年生。平戸のまちの大先輩である講師の皆様と一緒に給食を食べ、交流もさせていただきました。

ぼくは、委員会でわからないときに、いつも親切に教えてくれて、たよりがいのある、6年生にあこがれています。ぼくも、みんなにたよりにされて、しっかり学校を支えていける6年生になりたいです。そのために、後期に力を入れたいことが二つあります。一つは、6年生を見てたくさん学ぶことです。例えば、委員会のときには委員長や同じ委員会の6年生をしっかり見たいです。来年になったら、ぼくたちが委員会をまとめていきます。そのときに困ることがないように、進め方を知り、委員会をきちんと引っぱっていけるようにしたいです。また、1年生への関わり方も学びたいです。2階に行くときには、6年生がどのように話しかけているのか、しっかりと見て、ぼくも6年生になったときに、1年生が安心して学校生活を送れるように関わりたいです。(以下略)

これは、10月15日(火)の後期始業式で、児童代表の言葉として5年生の早竹さんが発表した内容です。後期を迎え、最高学年になるまでの半年間のめあてをしっかりと考えていること、いつも頼りがいのある憧れの6年生を見習って自分も平戸小学校をリードしていきたいという気持ちをもっていることにとっても感動しました。

「ふるさと平戸」で、地域の皆様から受け継いだ伝統は、6年生から5年生へ受け継がれ、下級生へも受け継がれていくことと信じています。

いよいよ霜月を迎えます。子どもたちは11月30日(土)の学習発表会に向けて、準備を進めているところです。皆様、ご多用とは存じますが、当日はぜひご来校いただき、子どもたちの発表をご覧いただけましたら幸いです。

今後とも保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

